

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



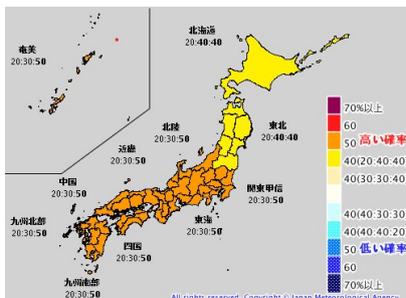
ジベレリン1回処理のススメ



- 巨峰・ピオーネ系ブドウの被害として毎年、多い項目は着色不良と晩腐病です。
- 着色に影響する原因には、収量、樹勢、品種、温度、光環境等があります。農家の方々は毎年、改善の工夫をされていると思いますが、それでも着色が改善しない場合は、ジベレリン1回処理を試されてはいかがでしょうか？
- この技術は、ジベレリン処理を1回だけ行なう方法です。処理液はフルメット 10ppm 加用ジベレリン 25ppm 溶液を用い、満開3～5日後に処理します。
- 近年、温暖化傾向が続く上、今夏はやや暑くなる長期予報が発表されました。この機会に新たな方法に挑戦して下さい。詳しくは指導機関にお問い合わせ下さい。



着色不良果房（巨峰、9月26日）



今年6～8月平均温度の予報（赤色が濃いほど高い。気象庁）



晩腐病を克服するために



- ブドウ栽培において最も警戒すべき病害です。手を抜くと必ずしつぺ返しがやってきます。実際、これだけやっていれば大丈夫といえる対策法はありません。広く総合防除が必要です。
- 感染は5月下旬からの降雨によります。その後、長い潜伏期間を経て、収穫直前に発病します。
- 現時点では防除暦にしたがい、5～6月の防除をしっかり行なうことと幼果が雨水にあたらぬように早めにカサかけ、袋かけを行なうことが重要です。
- この他に、ブドウ棚の衛生管理や発芽直前の休眠期防除もあわせて実施しましょう。



難防除病害の晩腐病発生果（ピオーネ）